


【件名】	街路築造工事のうち擁壁設置工事（2南西一八王子3・4・28[石川I期]）	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	東京都八王子市石川町地内 八王子3・4・28石川宇津木線	【受注者名】	ロード建設株式会社	
【工期】	令和3年2月17日から令和5年6月30日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 森田 正治	

## 【工事概要】

八王子3・4・28号線は、国道16号や多摩南北道路の一つである八王子村山線、国道20号などを結ぶ多摩地域南西部にとって重要な道路である。本工事は、同路線におけるアンダーパス部にて大規模掘削を行い、PC壁体や今後の工事に必要な仮設構台・土留等を設置するものである。

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

- ・監理技術者は必要な知識・経験を有するとともに、現場内の安全衛生管理を徹底するなど、協力会社と一丸となり、熱意を持って工事に取り組んでいた。
- ・閑静な地域であるため、騒音・振動による生活への影響を近隣住民が懸念していたことから、受注者は、自主的に率先して土留設置工等の際に騒音・振動を日々計測し、周辺環境に配慮して丁寧に施工することで、地域とのトラブルなく工事を完了させることができました。
- ・発生土の搬出先の変更や石灰混合攪拌作業の追加などの施工条件が大幅に変更になったことに対し、受注者は施工計画を迅速に修正・実施することで、工程に大きな影響が生じることなく工事を無事完了させた。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

## ◇ 苦労した点

土工事がメインであった為、梅雨の時期は排水処理が大変でした。ポンプを事前に設置、増設するなどし、対応してきました。また、作業構台の構築に使用するボルトの本数が多く品質管理に苦労しましたが、責任を強く持ち所定の品質で完遂することが出来ました。

## ◇ 特に工夫した点

コロナ禍での工事であった為、感染症対策には特に注意をして取り組みました。日々の検温及び携帯用アルコールの配布や、会話の際は距離を置くなどの指導を行い、感染者が出ないように心掛けておりました。

## ◇ 現場で得られたやりがいや達成感

大変なことは多々ありましたが、関係機関や協力業者、近隣住民の方々など、多くの方々と一緒に団結したからこそ、本工事を無事故無災害で完遂することが出来たと思っています。社会に貢献出来るものをみんなで作るということが、やりがいやモチベーションとなっています。

## ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

私が通勤時に使用する国道20号は今から約70年前に作られました。建設業では、そういった未来に残るものを作ることが出来ます。また、工事を無事に終わられた時は何ものにも代え難い達成感が得られます。



コロナ感染症対策備品

排水処理状況